



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

92.8.31 No. 3649

JR千葉支社の驚くべきひろき直り 組合差別ではない

申30号交渉

八月二十六日、営業関係合理化に関する団体交渉が総武支部代表者も参加し行われた。この日の団交は、七月二三日千葉支社より提案された、直営店舗の廃止・ホーム要員の廃止などを始めとした合理化案に、動労千葉より申第三〇号として申し入れ、行われたものである。

主な提案内容は：

- ①、成田空港新駅の開業
- ②、ホーム要員の廃止(千葉、浅草橋)
- ③、自動改札の導入(船橋、東船橋、布佐)
- ④、直営売店の廃止(亀戸、西船橋、千葉、浜野)

などを主とした、今までより以上の安全無視、サービスを切りすてた、効率「もうけ」のみを追い求めた内容となっている。

また動労千葉つぶし、強制配転者の「塩づけ」としてのみ存在していた売店を、さしもの千葉支社にしても「収益性」云々で、遂に廃止提案をしたが、今もって該当事者の運転職場復帰の道すじすら明らかにしていない。

主な交渉内容

〔成田空港新駅開業について〕

(組合)労働条件をすみやかに提案し、誠意をもって解決すること。運転保安を重視し通過防止等諸設備に万全を期すこと。

(会社)労働条件は作業中である。通過防止装置は考えていない。駅名板で乗務員に注意を喚起する。

〔ホーム要員の廃止について〕

(組合)ホーム要員は、乗客の安全の確保、またサービスのうえでも絶対必要なものである。設備を変えれば良いと言つものではない!

(会社)ITV、発車予告ベル等も設置するし、ラッシュ帯は配置する。

(組合)昼間帯こそ不案内な乗客が多い。何かあった時、「乗客自らが何とかするだ

ろう」では、公共機関としてあまりにも無責任だ!

(会社)そういう時は、改札なり、窓口なり、あるいは車掌に来るでしょう。

〔直営店舗の廃止について〕

(組合)廃止に伴う要員について、希望者は元職に戻すこと。

(会社)運転士資格者が売店にいることは認識しているが、任用の基準に基づき扱う。

(組合)そもそも収益性など始めから考えない組合対策であった。廃止ならば、なぜ帰さないのか?

(会社)組合差別ではない。執務態度、意欲等を見て任用している。

(組合)廃止に伴う要員について、どう考えているのか?

(会社)未定だが、テレホンセンター、J C 茂原店も開店するので、それらを含め総体的な要員を見て配置することになるだろう。

(組合)配転には希望を十分配慮すること。これは非常に大きな問題と考えている。会社はそれを認識すべきだ。

以上が、この日行われた団体交渉の要旨である。この五年間に運転士に登用した者、三八名中三七名がJR総連の組合員であるという、歴然とした差別・選別を行っていないながら、配転「塩づけ」は「組合差別ではない」とひろき直る、JR千葉支社を断じて許せるものではない!

さらなる配転を許すな!
全配転者の原職を奪還しよう!

総武支部対話会に意志統一 ストライキも辞げず闘う

営業への強制配転者が大半を占める総武支部は、この秋の闘いの中心をなす強制配転粉砕に向けて二七日から三日間にわたり対話集会を開催した。

ほとんどの組合員が出席し、普段思っていること、当局への怒りなどが多く出されていた。当然にも、最も多く出された意見は、「約束すべからず強制配転者を塩づけにして

いる当局を許せない」というものであり、加えて十月、五店舗を廃止するといいながら、今だ何ひとつ具体的説明すら行っていないことへの激しい弾劾が出された。

十月合理化は、営業を直撃する点が最大の

特徴である。売店廃止、ホーム要員の削減、ローカルの夜間無人化、自動改札の拡大など、一層の労働強化と安全無視、乗客へのしわよせなど、問題が山積している。

にもかかわらず、今段階に至っても何ひとつ具体的説明すらされないという、データメな経営姿勢に現場は労組の区別なく、不満と怒りは高まる一方であることが、つぶさに報告された。

こうした報告と対話の中から、総武支部としては、各現場からの反撃を組織し、当局の対応次第ではストライキをも辞さず闘うことを、がっちり確認し、闘いに入っている。総武支部は闘うぞ!